

# ダイバーシチ対応フェージングシュミレータ

# 4410A/4401A-DA



<4410A フェージングシュミレータ>

本体	.....1
	425(W)×99(H)×480(D) mm
	質量 7.5kg
電源	入力電圧許容範囲 : AC90V~AC250V(50Hz/60Hz)
	消費電力 : 約80VA
使用環境	温度 : +5°C~+40°C
	湿度 : 90%RH以下(結露のないこと)



<4401A-DA アップコンバータ>

本体	.....1
	425(W)×149(H)×580(D) mm
	質量 19.5kg (ノイズ付加オプション付きの場合は約2kg増量)
電源	入力電圧許容範囲 : AC90V~AC250V(50Hz/60Hz)
	消費電力 : 約145VA
使用環境	温度 : +5°C~+40°C
	湿度 : 90%RH以下(結露のないこと)

## 概要

本器は、4チャンネルまでのダイバーシチ受信試験を行うことの出来る放送波用のフェージングシュミレータです。各チャンネル当たり12パスを有します。更にC/N設定用にノイズ発生器を内蔵し、フェージング処理後の信号にノイズを重畳することができます。弊社製ダイバーシチ用アップコンバータ:4401A-DAと組み合わせることで、RF周波数帯でのダイバーシチ受信試験環境を実現します。

## 特長

### ・ダイバーシチ受信試験に必要な十分なチャンネル数・パス数を実現

チャンネル数は最大4、各チャンネル当たりのフェージングパス数は12パスを有し、余裕を持ったダイバーシチ受信試験環境を実現します。DIVERSITYモードではない場合(SINGLEモード)は、24パスのフェージングシュミレータとして使用できます。

### ・機器同士を容易に接続可能

本装置を組み合わせることで、RF周波数帯でのダイバーシチ受信試験環境を実現します。接続および操作は、標準装備のGP-IBインタフェースを介して容易に行うことができます。

### ・スタティックパス設定

各パスの絶対遅延量は±1ms(最小遅延分解能1ns)、位相設定は±180°(最小分解能1°)、減衰量は0~50dB(最小分解能0.1dB)です。

### ・全パスでレーリ波の出力が可能

全パスでレーリ波を実現できます。また、ドップラ周波数は1Hz~2000Hz(最小分解能0.1Hz)を設定できます。

### ・ノイズ発生器を内蔵

ノイズ発生器を内蔵しています。C/N設定範囲は、-5~+40dB(最小分解能0.1dB)です。

### ・リモートコントロール

標準装備のGP-IB(IEEE-488.2)によるリモートコントロールができます。またオプションでETHERNET(10Base-T/100Base-TX)によるリモート制御ができます。

## 4ダイバーシチ対応 フェージングシュミレータ システム図

